

## 第5回離島医療福祉研究会

日時 2018年3月15日(水)

場所 香川大学 経済学部 又信記念館 第3会議室

今回は瀬戸内圏研究センターの先生方から「瀬戸内圏研究センターの瀬戸内離島の調査研究体制」や「瀬戸内離島の特徴や歴史等の調査・研究状況」などについて、報告していただいた。

- ・瀬戸大橋架橋4島の30年間  
(稲田道彦 香川大学名誉教授)
- ・離島医療福祉と瀬戸内圏研究センター  
(多田邦尚 香川大学 農学部 教授)

最後に、一井委員から、今後の進め方について、次の提案があり、皆の同意を得た。

本研究会設立以来、5回の研究会を開催して、瀬戸内離島の仕事に携わっている方々や調査研究を行っている方々から、それぞれが把握している離島の状況を報告していただいた。これによって、大まかな離島の状況が把握できた。

次に、研究会自身の手で、瀬戸内離島の住民から直接意見を収集することにより、現実に即した離島の状況や要望を拾い上げる。その上で、瀬戸内離島の医療福祉のあり方を協議することにしたい。ついては、次年度(30年度)から、住民意見の収集のための方法や対象地区、対象住民などの協議に移りたい。

